

|      |  |
|------|--|
| 受験番号 |  |
|------|--|

試験時間 9:00~12:00

**【問題】**

下の図にある [面1] 及び [面2] の2枚を用いて立体をつくるものとする。

下に示す図の実線は切り込み線、破線は折り線とする。

また、折り曲げる角度は必ず90°とすること。

[面1] を折り曲げて作った立体を [立体1]、[面2] を折り曲げて作った立体を [立体2] とする。

直径3aの球体を [立体3] とする。

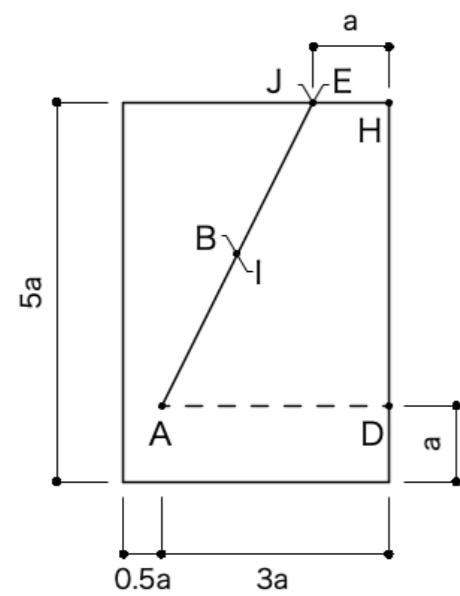
なお、検討のため問題用紙、解答用紙、草案用紙等を切り抜くことは禁止する。

**【設問1】**

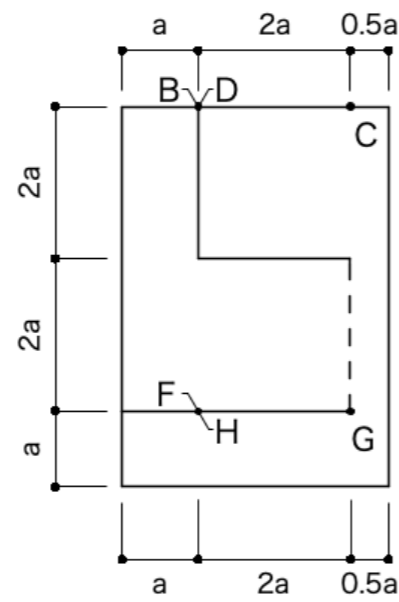
下記の【条件】に従い、点ABCDによって構成される台形の面積と、点EFGHによって構成される台形の面積を求めなさい。また、[立体1] と [立体2] を組み合わせた形がよく分かる方向から立体的に図示しなさい。

**【条件】**

1. [立体1] の点B、D、Hと [立体2] の点B、D、Hはそれぞれ互いに接するようにして配置すること。
2. [立体1] と [立体2] は辺または点のみで接し、面は重ならないように配置すること。



[面1]



[面2]

**【設問2】**

[立体1]、[立体2]、[立体3] を下記の【条件】に従い空間に創造的に配置し、描画用B3判画紙に描写しなさい。なお [立体1]、[立体2] の配置は【設問1】の条件にとらわれず自由に変えて良い。

**【条件】**

1. [立体3] の球体は必ず他の立体に2点以上で接していること。
2. 面の厚みは0.1aとして描写すること。
3. 任意の一方から平行光線があたっている状態で、立体と地面に落ちる陰影を描写すること。
4. 描画用B3判画紙は縦横使い自由とし、鉛筆で描くこと。

**【配布品】**

- |   |                   |       |
|---|-------------------|-------|
| 1 | 問題用紙              | ・・・1枚 |
| 2 | 解答用紙              |       |
|   | a. [設問1] 解答用紙     | ・・・1枚 |
|   | b. [設問2] 描画用B3判画紙 | ・・・1枚 |
| 3 | その他               |       |
|   | a. 草案用紙           | ・・・2枚 |
|   | b. ゴミ入れ用袋         | ・・・1袋 |

**【注意】**

- ・使用できる持参用具は、募集要項に記載されたもの「鉛筆（描画用）、消しゴム、三角定規（30cm程度一組）、カッターナイフ、はさみ」に限る。
- ・配布品は持ち帰ってはならない。

|      |  |
|------|--|
| 受験番号 |  |
|------|--|

令和5年度（2023年度） 東京藝術大学美術学部建築科 入学試験 [空間構成] 解答用紙

**【設問1】**

点ABCDによって構成される台形の面積

---

点EFGHによって構成される台形の面積

---

組み合わせた形がよく分かる方向から立体的に図示しなさい。



令和5年度（2023年度） 東京藝術大学美術学部建築科 入学試験〔総合表現〕問題用紙1

試験時間 9:00～17:00（昼食 12:00～12:45）

【設問2】～【設問4】は配布した封筒内にあります。10:00の合図まで開封しないでください。なお、10:00以降も【設問1】の解答を続けても構いません。

【設問1】

人の手の多様な形態には様々な役割や働きがあると同時に、その形態から内部の仕組みや成り立ちを想像することもできる。また人と人とのコミュニケーションの手段として指でジェスチャーしたり、手と手で握手をしたりすることもある。

ここでは、そのようなあなたの手の形態や働き、意味を深く観察、分析した上で、そこから抽出した「手から連想するかたち」を10点、タイトルを添えて【設問1】解答用紙に描きなさい。

なお、ここでの「手から連想するかたち」とは、あなたの思考から導かれる表現を求めるものであり、写実的なデッサンを求めるものではない。

〔配布品〕

- |                       |     |
|-----------------------|-----|
| ①問題用紙1                | 1枚  |
| ②解答用紙                 |     |
| a. 【設問1】解答用紙          | 1枚  |
| b. 【設問2】解答用B3判画紙      | 1枚  |
| c. 【設問3】解答用B2判画紙      | 1枚  |
| ③封筒                   |     |
| a. 問題用紙2              | 1枚  |
| b. 【設問4】解答用紙          | 1枚  |
| ④造形スタディ用具             |     |
| a. B3判ケント紙            | 1枚  |
| b. 両面テープ              | 1巻  |
| c. カッティングマット（A2判）     | 1枚  |
| d. スティール定規（60cm、30cm） | 各1本 |
| ⑤その他                  |     |
| a. 草案用紙               | 3枚  |
| b. ゴミ入れ用袋             | 1袋  |
| c. 画鋏                 | 2個  |

〔注意〕

- ・使用できる持参道具は、募集要項に記載されたもの「鉛筆（描画用）、色鉛筆（描画用）消しゴム、三角定規（30cm程度一組）、カッターナイフ、はさみ」に限る。
- ・配布品は持ち帰ってはならない。

令和5年度（2023年度） 東京藝術大学美術学部建築科 入学試験【総合表現】問題用紙2

試験時間 9:00～17:00（昼食 12:00～12:45）

**【設問2】**

【設問1】で描いた10点の「手から連想するかたち」を創造的に統合あるいは展開し、30人程度で同時に過ごすことができる広さを持ち、巡って歩くこともできる立体的な空間を構想しなさい。

「あなたが構想した空間」の全体像を【設問2】解答用B3判画紙に描写しなさい。（画紙の縦横使いは自由とする。）

なお、【設問1】で描いた「手から連想するかたち」は全てを用いなくてもよく、構想に則して適宜改変しても構わない。

**【設問3】**

【設問2】で表現した空間をその特徴が端的に感じられる場所に立つ1人の目から見たものとして、【設問3】解答用B2判画紙に描写しなさい。なお、画面内に人物を1人以上配置すること。

**【設問4】**

【設問1】・【設問2】・【設問3】を振り返り、以下を文章および図を用いて【設問4】解答用紙に記述しなさい。

- (1) 【設問1】「手から連想するかたち」と【設問2】「あなたが構想した空間」との関係
- (2) 「あなたが構想した空間」の特徴や魅力

なお、この試験はあなたの観察、分析と構想、創造の関係についての総合的な表現力、説明力を考査するものであり、正解を求めるものではない。

また、草案用紙等は全て試験後に机の上に配置しておくこと。

【設問1】 解答用紙

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| A | B | C | D | E |
| F | G | H | I | J |

|      |  |
|------|--|
| 受験番号 |  |
|------|--|

令和5年度（2023年度） 東京藝術大学美術学部建築科 入学試験 [総合表現]

【設問4】 解答用紙 (1) (2)